

令和4(2022)年度 寄附受入状況と活動報告



宇都宮大学3C 基金

宇大スピリット3C精神（Challenge、Change、Contribution）を冠した本基金は、皆様から多くのご支援をいただき、広く社会で活躍しうる人材の育成にむけて、奨学金の給付、教育研究活動、地域への貢献活動、キャンパス環境の整備等の支援に活用させていただいております。

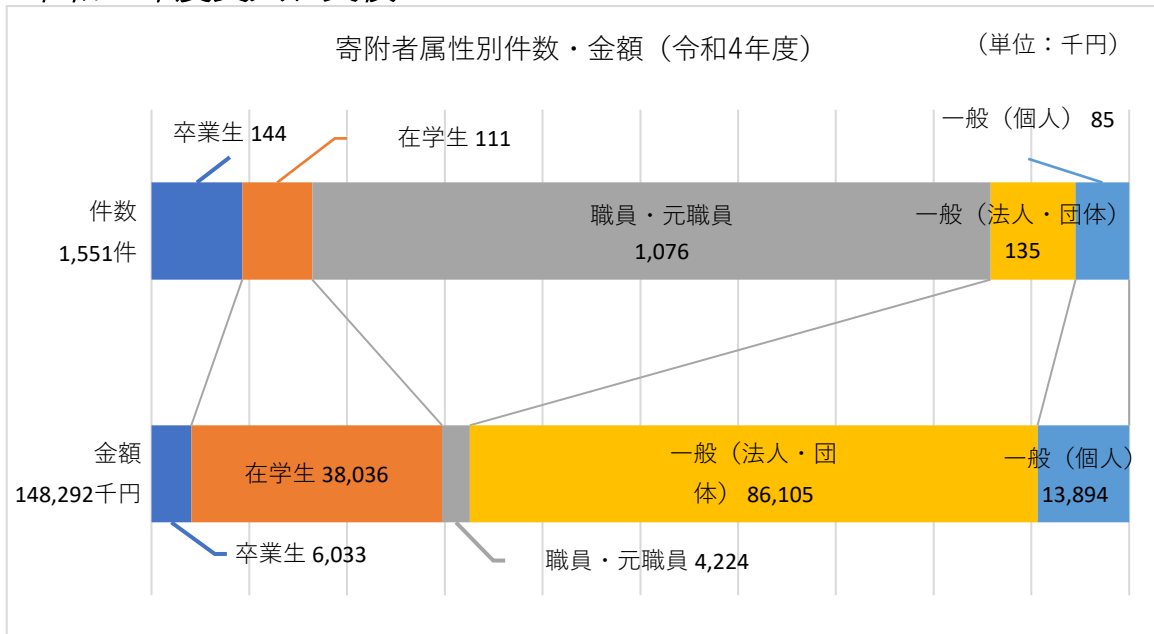
本基金の趣旨に対し、深いご理解とご協力を賜わり、多大なるご寄附を頂戴した皆様には厚く御礼申し上げますとともに、令和4年度の寄附受入状況と支援活動についてご報告いたします。

1. 寄附金の受入状況

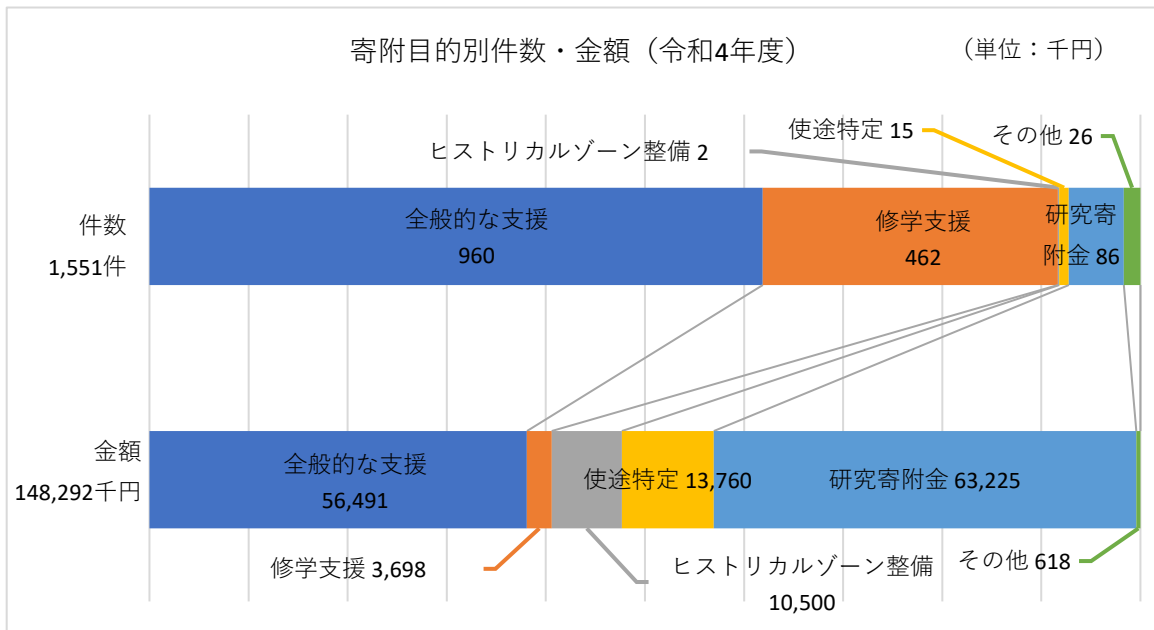
宇都宮大学3C基金が発足した平成29年度から令和4年度までに、卒業生、在学学生、一般、職員（元職員）の方々から総額約9億9,649万円のご寄附を頂戴いたしました。

また、146名の個人の方々と28法人様が「宇大倶楽部」にご入会いただき、継続的なサポーターになっていただいております。

(1) 令和4年度受入れ実績

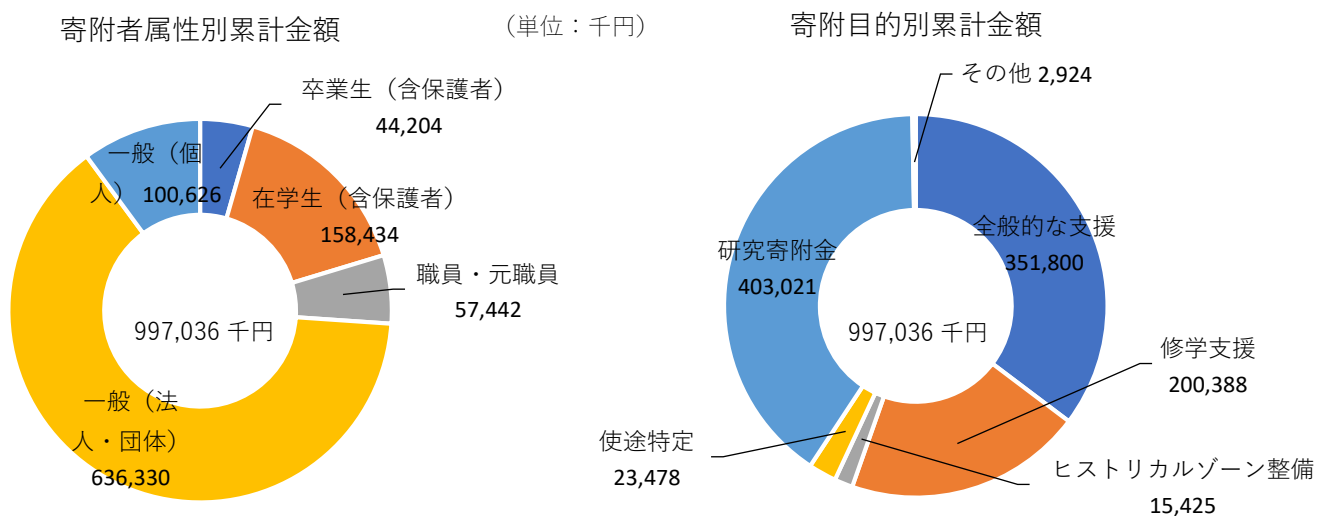


※卒業生及在学学生には、保護者を含みます。



※ その他：農学部100周年記念事業、地域課題解決、学生や不安定な雇用状態にある研究者への支援

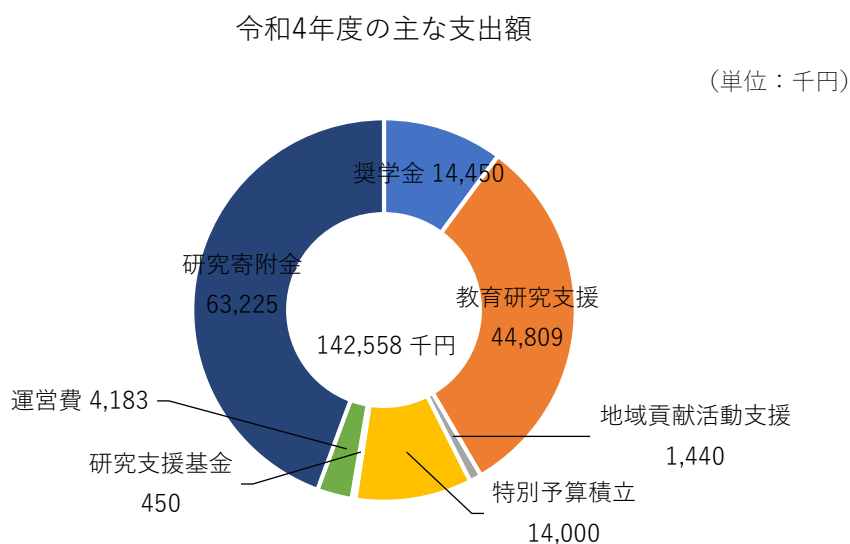
(2) 平成29年度から令和4年度までの受入れ実績



※ その他：農学部100周年記念事業、地域課題解決、学生や不安定な雇用状態にある研究者への支援

2. 支援した事業

皆様から頂戴したご寄附は、以下の支援事業にて使用させていただきました。



(1) 奨学金

1) 飯村チャレンジ奨学金

光陽エンジニアリング株式会社様（代表取締役会長 飯村慎一氏）からのご寄附を活用し、チャレンジ精神旺盛な学生を支援する奨学金です。

令和4年度は、15名の学生に対しそれぞれ36万円（月額3万円/12ヶ月）を給付しました。給付者については、ボランティア活動に積極的に参加することを条件に、チャレンジ精神旺盛で経済的な支援が必要と認められる学生を書類と面接によって選考しました。

令和5年3月には、奨学生のボランティアや研究活動についての報告会を開催しました。



最終発表報告会

2) 入学応援奨学金

宇都宮大学への入学を希望しながら、経済的理由により進学を断念することがないように栃木県内高校出身の学生10名に対し、入学時に必要となる学資の一部としてそれぞれ30万円を給付しました。

なお、選考は令和3年度中に実施し、入学後の令和4年4月に給付しました。

3) 学生ピアサポート

新入生に対し、上級生が学生ピアサポートとしてメンタル面を含めた様々な相談に対応しています。気軽な話し相手となることで不安や疑問に向き合っています。

宇都宮大学学生後援会様からのご寄附を主な原資として、のべ65名（前期38名、後期27名）に対し、総額130万円を学生ピアサポート奨励費として支給しました。

4) 関スポーツ奨学金

関雅樹様（株式会社栃木ブレックス取締役会長）からのご寄附を活用し、課外活動団体（体育系で各種競技大会に出場している任意団体）に所属し、積極的にスポーツ活動に参加し、スポーツと活動と学業の両立のため、経済的に支援が必要と認められる学生に対して給付する奨学金です。

令和4年度は、3名の学生に対しそれぞれ10万円を給付しました。

5) 増山奨学金—外国人留学生支援奨学金—

増山律子様からのご寄附を活用し、大学院修士課程及び大学院博士前期課程に在籍する学生のうち、学業成績及び人物が優秀で、かつ留学時の生活のための経済的支援を必要とする私費外国人留学生を支援する奨学金です。

令和4年度は、16名（前期10名、後期6名）の外国人留学生に対しそれぞれ10万円を給付しました。

6) 増山奨学金—海外留学支援奨学金—

増山律子様からのご寄附を活用し、世界トップクラスの大学等へ留学するために、経済的支援が必要な学生へ給付する奨学金です。

令和4年度は、条件を満たす者がいなかったため支給はありませんでした。

7) 斎藤裕奨学金

斎藤裕様からのご寄附を活用し、先進的な研究開発に意欲がある理工系の学士課程4年生と大学院修士課程及び博士前期課程に在籍する学生に給付する奨学金です。

令和4年度は、5名の学生に対し総額285万円を給付しました。

(2) 教育研究支援事業

1) 3C 留学奨励金

海外派遣プログラムに参加する学生に、諸経費等を支援するものです。

令和4年度は、海外英語研修と国際インターンシップに参加した33名の学生に対し総額191万円の支援を行いました。



英語研修クロージングセレモニー

2) 大学院生研究奨励金（研究グラント）

フィールドワークや各種調査等に主体的・意欲的に取り組む大学院生に対して支援するものです。

令和4年度は、制御工学、NGO、バイオフィルム等を研究する9名の学生に対し総額97万円の支援を行いました。

3) 齋藤裕研究助成金

齋藤裕様からのご寄附を活用し、先進的な理工系の研究者支援のため、若手教員へ助成を行うものです。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対策のため、派遣は行いませんでした。

4) 飯村 SDGs 推進奨励賞

光陽エンジニアリング株式会社様（代表取締役会長 飯村慎一氏）からのご寄附を原資として、地域社会でのSDGs推進を目指す教育・研究プロジェクトや意欲的なSDGs推進活動を奨励するものです。

令和4年度は、事業見直しのため募集を行いませんでした。

5) 教育設備の充実

基盤教育英語科目（EPUU）における学習内容の充実を図るため、株式会社 TKC 様のご寄附を活用し、CALL 教室の保守等に 249 万円を支出しました。

また、学生後援会様から証明書自動発行機の更新のため 966 万円をご寄附いただき、峰キャンパス学務棟 1 階と陽東キャンパス学生プラザ 1 階に設置しました。



証明書自動発行機

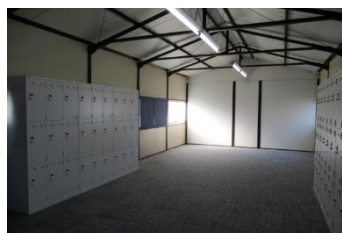
6) 学生支援

学生後援会様からのご寄附や課外活動団体支援イベントへの参加による獲得寄附等を原資に様々な支援を行い、総額 1,683 万円を支出しました。

- ・ 課外活動奨励 支援イベント Giving Campaign へ参加した 16 団体へ 145 万円
- ・ 課外活動設備更新 AED、スポーツトラクター、ロッカー、安土等 537 万円
- ・ 第 2 体育館改修 壁修繕及び屋外トイレ洋式化 494 万円
- ・ 学生表彰 42 名と 8 団体へ 150 万円
- ・ 食への支援 食券、学食パス・ベースマネー付与 のべ 1,320 名へ 358 万円



弓道部安土更新



女子更衣室ロッカー更新



AED 屋外設置

7) 女性研究者海外派遣助成

女性研究者が海外の研究機関・教育機関において研究を行い、高度な研究力、国際性及びリーダーシップ力を身につけることを支援するものです。

令和4年度は、4名に対し総額218万円の支援を行いました。



マレーシアでのものづくり交流

8) 部局等使途特定支援

部局の活動やプロジェクト支援等寄附先や使途を指定して支援できる仕組みで、令和4年度は、学部、センター、課外活動クラブ等宛に1,376万円を受け入れ、それぞれの活動に積極活用されました。

(3) 地域貢献活動支援事業

1) 地域貢献活動支援

峰が丘地域貢献ファンドの運用益を活用し、地域に貢献する学生の活動を支援するものです。

令和4年度は、3件の活動に対し、総額44万円の支援を行いました。



バーチャル宇都宮大学

2) 3Cキッズカレッジ

次世代育成事業として、理科実験体験やものづくり教室など、子ども向け体験活動講座・教室活動を支援するものです。

令和4年度は、9件の事業に対して総額100万円の支援を行いました。



子ども国際理解サマースクール

(4) 特別事業予算

1) キャンパス環境整備

建物改修や備品導入等環境整備の積立てのために400万円を特別予算へ振り替えました。

令和4年度はこの特別予算から492万円を支出し、リモートワークの環境を整えるため、峰キャンパスと陽東キャンパスの図書館それぞれに2台ずつ個人ブースを設置しました。



ワークスペース

2) ヒストリカルゾーン整備

ヒストリカルゾーンは、6つの施設（峰ヶ丘講堂=登録有形文化財、石蔵、UUプラザ、フランス式庭園=登録記念物、イギリス式庭園、日本式庭園）により構成されています。これらの施設を誰もがより活用しやすくすることを重視し、それぞれの長所を更に魅力的なものへ、短所は長所に転換する改善を施し、安全・安心で明るく彩り豊かな場所として整備するために特別予算を組んで積み立てており、1,000万円を振り替えました。

令和4年度は、以下の整備のために1,037万円を支出しました。

- ・ UUプラザへの絵画受入・展示 121万円
- ・ 峰ヶ丘講堂のユニバーサルデザイン化等 465万円
- ・ 石蔵改修のための事前準備 77万円
- ・ 庭園危険樹木の伐採 374万円



常設展示している絵画



峰ヶ丘講堂スロープ



採光が改善した日本式庭園周辺

(5) 研究寄附金

学術研究に要する経費など、教育研究の奨励などを目的に寄附者から指定された教員等へ合わせて6,322万円を受け入れ、当該教員の学術研究及び教育活動等に使用されました。

(6) 基金運営費

銘板やサポーターパネルの更新、返礼品、寄附特典等、寄附者の方々への対応費用として269万円を支出しました。

また、人件費、基金管理システム改修費、リーフレット作成等3C基金運営の事務費用として148万円を支出しました。

3. 今後の計画

令和5年度は、引き続き学生の学びの継続や充実した学生生活のために多角的な支援体制を強化するとともに、地域社会への貢献や研究活動への支援を行って参ります。ヒストリカルゾーンについては、石蔵A棟を保存、B棟は解体して周辺一帯の植栽等による整備を計画しています。

また、キャンペーン等を展開し、様々な受入と支援の方策やそれに付随した大学認知度の拡大を図っていきたいと考えております。

引き続き、宇都宮大学3C基金の精神に則り、さらなる教育研究活動の充実を図れるよう支援事業の拡充に取り組んで参ります。今後とも、宇都宮大学3C基金に対する変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

宇都宮大学3C基金事務局

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町 350

tel: 028-649-8177

e-mail: kikin@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp



3C基金ロゴマーク

栃木県の方言で、フクロウをホロスケットと言うことから、「ほろ=少し」と「助っ人」を組み合わせ、様々な活動に少しずつ支援を行う基金という意味を持たせています。